

# 日曜学校クリスマス祝会——岐阜教会の例

岐阜教会長老 すぎしたきよひら  
杉下貴代平

「クリスマスは、言うまでもなく生徒たちが最も期待しています。クリスマス礼拝や、祝会、プレゼント等、いずれも子供時代の思い出として記憶に残ることでしょう。」

昨年の「月報」の日曜学校報告の一部です。日曜学校には平均して25名ほどの児童たちに加えて、数名の指導員が児童養護施設から出席して来ます。日曜学校のクリスマス祝会は総勢80名ほどで守ることができました。福音宣教の豊かな機会が与えられていることを感謝しておりますが、教会員の子弟や近隣からの出席者が皆無という棘を与えられているのも現実です。

わたしどもの教会では10月の教師会から、その年の日曜学校クリスマス祝会についての準備に取掛ります。もう少し早目に取組みたいとの意見もあるのですが……。

毎年度の初めの教師会で、日曜学校クリスマス祝会は降誕祭主日直前の金曜日午後6時半からと決めて居りますが、7月下旬、夏期学校実施後の反省会、10月に計画している野外集会などの検討をしていると、例年この時期になります。

過去の祝会を振り返りながら、意見を出し合い、キャンドル・サービス、祝会のアウトライン、児童たちへのプレゼントについて話し合いました。

祝会の出し物については、実際のところ、11月の教師会にならないと中味が決まりません。かつては、音楽集会、映画会、教師総出演で聖誕劇を披露いたしました。劇は名脚本家の教師によりシナリオが編まれ、順調にゆけば、11月下旬から読み合わせ、立ち稽古を数回重ねた上で、当日を迎えますが、綿密な打ち合わせができないままに演じますので、どうしても、どたばた劇になってしまい勝ちでした。児童たちの関心も寄せ切れませんでした。

そこで、2009年度には、“スライド紙芝居”なるものを思い付きました。

教会に備えてある紙芝居「イエスさまのお生れ」をそっくりスライドに焼き直し、スクリーンに投影しながら、キャストごとに各々の教師が台詞を語るものでした。「殊のほか児童たちは興味をもって、聴き入ってくれたのではないか！」という意見が反省会の折に出ましたので、“2匹目の泥鰌”という訳でもありませんが、もう一度やってみようということで、2010年はスライドによる絵本朗読と分級ごとの歌の発表会が祝会の出し物になりました。

祝会における分級ごとの出し物の準備は、11月教師会後の分級の時間、児童たちの意見を参考にしながら、練習が重ねられるのですが、主日ごとのメンバーの変動が大きいので、順調に練習を積みません。各教師にとって、当日を迎えるまで緊張が続きます。

児童たちへのプレゼント——以前は教会員の協力を得て、児童たちへのクリスマスメッセージと贈り物を調べたこともありましたが、近年は、キリスト教書店のカatalogを参考に分級の教師が品定めをしたり、一部は近隣の教会のバザーに出掛けて行って購入して調べた上で、祝会直前の主日の午後、プレゼントの点検、包装、諸確認をして、当日を待ちます。

なお、待降節に入ると、教会のロビーには天井まで届く樅の木に沢山のオーナメントが付けられたクリスマス・ツリーが出現して、児童たちの礼拝出席を笑顔で迎えてくれるのです。

# ☆ 日曜学校クリスマス祝会プログラム ☆

註 さんぴかは『こどもさんぴか』を用いました。

## <第一部> キャンドル・サービス (れいはい)

- (1) そうがく (しょうとう)
- (2) しょうし (ろうそく点火)
- (3) さんぴか (18)
- (4) しゅのいのり
- (5) さんぴか (27)
- (6) せいしょ マタイによる福音書2章1～6節
- (7) おいのり
- (8) さんぴか (28) (てんとう)
- (9) おはなし 多田せんせい
- (10) おいのり
- (11) さんぴか (23)
- (12) しょうえい (16)
- (13) しゅくとう

## <第二部> 祝会

- (1) うた (ようちか/小学1, 2, 3年)  
・おほしがひかる ・うれしいうれしい ・そらにはてんしの
- (2) がっき/うた (小学4, 5, 6年)  
・いざうたえ ・もろびとこぞりて
- (3) クリスマスものがたり・スライド (せんせい)  
・まぶねのなかに (ぜんいん)
- (4) みんなでうたおう  
・うれしいうれしい ・あわてんぼうのサンタクロース
- (5) プレゼント

## ◇「クリスマス物語」について

ステンドグラス作家・立花江津子氏が、ガラスへのイマジネーションの元になる原画 (ステンドグラスデザイン) の手法を用いて、14場面で構成され、聖句によってストーリーがつけられています。2001年4月女子パウロ会の刊行。当日は2名の教師によって朗読され、全体を通して静かで重厚なBGMを重ねました。透明感の溢れた絵物語に児童たちは聴き入ってくれたように感じています。ぜひ、絵本をご覧ください。

